

令和 2 年度

朝霞和光資源循環組合  
決算審査意見書

朝霞和光資源循環組合監査委員



朝 和 総 監 第 9 号  
令 和 3 年 7 月 8 日

朝霞和光資源循環組合管理者 柴崎光子 様

朝霞和光資源循環組合監査委員 細 沼 栄

同 内 山 恵 子

令和 2 年度朝霞和光資源循環組合一般会計歳入歳出決算審査  
意見書の提出について

地方自治法第 2 3 3 条第 2 項の規定により審査に付された、令和 2 年度朝霞  
和光資源循環組合一般会計歳入歳出決算書その他政令で定める書類を審査した  
ので、その結果について、次のとおり意見を提出する。

## 目次

第1	審査の概要.....	1
第2	審査の期間.....	1
第3	審査の方法.....	1
第4	審査の結果.....	1
第5	決算の概要.....	2
1.	決算の状況.....	2
2.	歳入.....	3
3.	歳出.....	4
4.	財産の状況.....	6
第6	意見.....	6

## 注記

- (1) 比率(%)は、表示単位未満を四捨五入した。
- (2) 別表の構成比率は、四捨五入して算出しているため、合計に一致しない場合がある。
- (3) 「0.0」は、該当数値はあるが表示単位未満のものである。
- (4) 「-」は、該当数値のないものである

## 令和2年度朝霞和光資源循環組合一般会計歳入歳出決算審査意見書

### 第1 審査の概要

#### 1 審査の対象

- (1) 令和2年度朝霞和光資源循環組合一般会計歳入歳出決算
- (2) 令和2年度朝霞和光資源循環組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書
- (3) 令和2年度朝霞和光資源循環組合一般会計実質収支に関する調書
- (4) 令和2年度朝霞和光資源循環組合財産に関する調書

### 第2 審査の期間

令和3年6月30日

### 第3 審査の方法

この決算審査に当たっては、管理者から提出された歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書並びに提出された資料に基づき、決算計数の正確性を確認するとともに、予算が適正かつ効率的に執行されているか、事務事業が効果的、経済的に執行されているかを主眼とし、関係職員の説明を聴取し、例月出納検査の結果を参考にしながら審査を実施した。

### 第4 審査の結果

審査に付された一般会計歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書の計数は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、それぞれ関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。また予算執行及び事務処理についても、例月出納検査を通じて検査・監査した結果、概ね良好に処理されていた。

## 第5 決算の概要

### 1. 決算の状況

令和2年度の決算額は、予算現額 6,430万7,000円に対して、歳入は6,430万5,063円で、歳出は5,414万3,082円となり、歳入歳出差引額、実質収支額ともに10,161,981円となっている。

歳入歳出決算状況は、次表のとおりである。

#### 歳入歳出決算状況

(単位：円、%)

区 分	令和2年度	令和元年度	増減額	増減率
予算現額	64,307,000	—	64,307,000	皆増
歳入決算額 A	64,305,063	—	64,305,063	皆増
歳出決算額 B	54,143,082	—	54,143,082	皆増
歳入歳出差引額 A - B C	10,161,981	—	10,161,981	皆増
翌年度に繰り越すべき財源 D	0	—	0	0
実質収支額 C - D E	10,161,981	—	10,161,981	皆増
前年度実質収支額 F	—	—	—	—
単年度収支額 E - F	10,161,981	—	10,161,981	皆増

## 2. 歳入

### (1) 歳入の概要

決算額は64,305,063円で、予算現額64,307,000円に対して1,937円の減となり、収入率は99.9%である。また、調定額64,305,063円に対する収入率は100.0%である。

決算額の内訳は、次表のとおりである。

(単位：円、%)

款	令和2年度				令和元年度		対前年度比率 (収入済額)	
	調定額	収入済額	収入率	構成比	収入済額	構成比	増減額	増減率
分担金 及び 負担金	64,305,000	64,305,000	100.0	99.9	—	—	64,305,000	皆増
諸収入	63	63	100.0	0.1	—	—	63	皆増
合計	64,305,063	64,305,063	100.0	100.0	—	—	64,305,063	皆増

※収入率：収入済額／調定額

※構成比：収入済額合計に占める比率

### (2) 歳入の収入状況

歳入の状況を款別にみると、次のとおりである。

#### 第1款 分担金及び負担金

(単位：円、%)

予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
64,305,000	64,305,000	64,305,000	0	0	100.0

・ 収入済額は、構成市（朝霞市、和光市）からの負担金収入である。

#### 第2款 諸収入

(単位：円、%)

予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
2,000	63	63	0	0	3.2

・ 収入済額は、歳計現金預金利子と歳計外現金預金利子である。

### 3. 歳出

#### (1) 歳出の概要

決算額は5,414万3,082円で、予算現額6,430万7,000円に対して1,016万3,918円の減となり、執行率は84.2%である。

決算額の内訳は、次表のとおりである。

(単位：円、%)

款	令和2年度		令和元年度		対前年比較	
	支出済額	構成比	支出済額	構成比	増減額	増減率
議会費	1,488,577	2.8	—	—	1,488,577	皆増
総務費	44,074,505	81.4	—	—	44,074,505	皆増
衛生費	8,580,000	15.8	—	—	8,580,000	皆増
予備費	0	0.0	—	—	0	—
合計	54,143,082	100.0	—	—	54,143,082	皆増

#### (2) 歳出の執行状況

歳出の状況を款別にみると、次のとおりである。

##### 第1款 議会費

(単位：円、%)

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
1,496,000	1,488,577	0	7,423	99.5

- ・ 支出済額の主なものは、議員報酬、職員期末手当、会議録作成業務委託料である。

##### 第2款 総務費

(単位：円、%)

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
46,876,000	44,074,505	0	2,801,495	94.0

- ・ 支出済額で主なものは、報酬、一般職給、職員手当等、共済費、業務委託料(コンピュータ関連機器保守委託料、人事給与システム保守委託料等)、事務機器借上料(財務会計システム等)、備品購入費(公用車)等である。
- ・ 不用額の主なものは、報酬、職員手当等、委託料等である。

##### 第3款 衛生費

(単位：円、%)

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
11,935,000	8,580,000	0	3,355,000	71.9

- ・ 支出済額は、委託料(地歴調査等業務委託料)である。



第4款 予備費

(単位：円、%)

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
4,000,000	0	0	4,000,000	0.0

- ・ 予備費の支出なし。

#### 4. 財産の状況

##### (1) 公有財産（土地・建物）

該当なし

##### (2) 物品（1件10万円以上の備品）

区 分	前年度末現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
軽自動車	0	1	1
電子計算機（パソコン以外）	0	3	3
パソコン	0	9	9
コピー機	0	1	1

##### (3) 債権

該当なし

##### (4) 基金

該当なし

#### 第6 意見

当組合は、令和2年10月1日に設立された新規の組合であり、令和2年度においては半年分の決算審査となった。令和2年度の決算額は、歳入は64,305,063円で、歳出は54,143,082円で、歳入歳出差引き、実質収支ともに10,161,981円となっている。

主な歳出は、衛生費のごみ広域処理施設建設予定地地歴調査等業務委託や総務費の人件費及び事務運営の支出であった。引き続き、効率的かつ効果的に事務事業を進めていくため、次の点に留意して取り組まれるよう要望する。

- ① 事務事業の執行については、国庫補助金等の確保を図るとともに、経費節減に取り組まれ、より一層効率的・効果的な財政運営に努めること。
- ② 令和2年度には大きな入札・契約事務は発生しなかったが、今後、施設の建設に向けた業務委託を行っていくことから、より一層の事務の透明性、公平性、公正性及び競争性の確保に努めること。
- ③ 事務事業の実施にあたっては、引き続き透明性と説明責任を図り、構成市の住民等に対し、適切な情報提供に努めること。
- ④ 予算編成にあたっては、事業の精査を十分行い、適切な予算措置に努めること。